

派遣

< 派遣日程・派遣先・派遣校 > (派遣者数：216名)

【 1 多文化共生派遣 】

- 10月29日～11月 4日：UAE
大崎、青山、若葉総合、田無、竹早、富士（計23人）
- 11月 6日～11月11日：インドネシア（新規）
小山台、松が谷、清瀬（計12人）
- 11月18日～11月24日：ヨルダン（新規）【中止】
参加予定の石神井・上野・福生高校には、派遣代替として
①駐日ヨルダン大使公邸訪問、②現地校とのオンライン交流を実施
- 11月14日～11月18日：フランス
荻窪、江北、高島、広尾、多摩、大泉、
国立、世田谷総合、新宿山吹（通信制）、
葛飾ろう、中央ろう、立川学園、文京盲（計47人）
- 12月10日～12月16日：エジプト（新規）
王子総合、小金井北、新島（計12人）
- 1月29日～ 2月 3日：マレーシア（新規）
八潮、八王子東、成瀬（計12人）

【 2 専門高校生徒派遣 】

- 10月23日～10月29日 ニュージーランド（新規）
第一商業、農産、瑞穂農芸、大島（計16人）
- 12月17日～12月22日 フィンランド（新規）
杉並工科、田無工科、第五商業、新宿山吹（定時制）（計14人）
- 1月14日～ 1月19日：UAE
練馬工科、蔵前工科、葛飾商業、八王子桑志（計16人）

【 3 部活動派遣 】（新規）

海外の先端施設を訪問し、関係者等との交流を通して、環境や価値観に触れ、スポーツ振興に寄与する意識を醸成

- 1月15日～ 1月19日：フランス
東久留米総合、東村山、狛江、小松川、八王子桑志、
王子総合（計24人）

【 4 STEAM派遣 】（新規）

STEAM教育を直接体験し、「探究する力、思考法、表現方法」を身に付けるための「気付きを得る」

- 3月14日～ 3月21日：アメリカ
日比谷、科学技術、新宿、白鷗、桜修館中等、
国際、文京、両国、立川国際中等、南多摩中等（計40人）



UAE



インドネシア



エジプト



ニュージーランド



フィンランド



フランス

< 海外派遣研修を通じた学びとその成果 >

1 主な訪問先・交流内容

主な訪問先	主な交流内容
高校	○同世代との交流・授業体験・文化交流 ○世界的課題についてのテーマ発表・議論
大学・研究施設	○トップレベルの大学の研究に係る講義・体験 ○大学教授・大学生との交流・テーマ発表、意見交換
現地の日本大使館	○都の代表としての表敬訪問 ○大使・外交官からの講話・意見交換
日系企業	○世界における日本企業の取組体験 ○世界を舞台に活躍する日本人との交流
現地企業	○世界を舞台に展開する企業を訪問 ○講話・研究テーマ発表・意見交換
文化施設・世界遺産	○多文化・異文化を直に体験・見聞

＜ 海外派遣研修を通じた学びとその成果 ＞

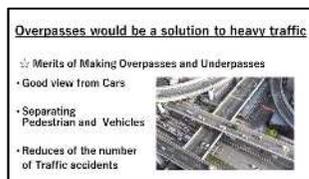
2 研究内容例（事前学習・現地での発表・成果報告）

プログラム	発表タイトル
多文化共生派遣	インドネシアのバティックと伝統文化の継承（伝統文化） 日本とUAEにおける再生利用可能資源の活用（エネルギー） マレーシアにおける交通渋滞の解消（都市課題）
専門高校生徒派遣	ニュージーランドから学ぶスマート農業（科学技術） ITとデザインの観点から考えるフィンランドの幸福度（科学とデザイン） 日本とUAEの特色を生かした商品開発（マーケティング）

3 成果報告までの研究の流れ

① 事前学習

「理解の深化」と「広い視野の獲得」



データ分析による現状把握

仮説の設定

② 現地派遣・交流体験

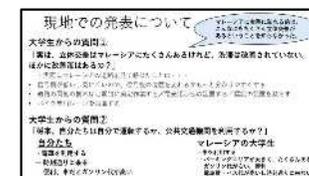
「生きた英語体験」と「より深い洞察」



英語での発表・意見交換

③ 振り返り、成果報告

「新たな視点の獲得」



考察と新たな気づき

4 参加した生徒の声

- ・「多様な価値観や考え方に触れ、視野が広がった」
- ・「海外大学への進学やグローバル企業での海外勤務など、将来のキャリアを考える契機となった」
- ・「世界の人々と協働するため積極的に英語で会話する必要性をあらためて学んだ」
- ・「異文化の直接体験を通じ、社会貢献するため、自分にできることは何かについて考えた」
- ・「参加した生徒同士の議論を通して、様々な視点から考えることの楽しさ・大事さを学んだ」

5 引率教員の声

- ・「同年代の高校生の驚きや感動等を校内の報告会で直接聞くこと等で、参加しない生徒にもよい影響があった」

1 招聘事業（5年度単年度事業）

- ・都内に1週間滞在し、授業体験・文化体験等を実施
- ・中高一貫校等を訪問、各国生徒が文化や課題等をプレゼン

※**交流機会の少なかった国・地域から選定**（8か国 合計100人）

㊦ **11月13日～17日**

- ・エジプト : 立川国際中等
- ・ヨルダン : 南多摩中等、富士
- ・トルコ : 桜修館中等
- ・フィンランド : 小石川中等、三鷹中等

㊦ **11月20日～24日**

- ・シンガポール : 白鷗
- ・マレーシア : 武蔵
- ・インドネシア : 大泉
- ・インド : 両国



都立高校での授業参加体験・グループディスカッション

**2 東京体験スクール**

- ・バディと共に短期留学体験（**1週間**）
 - ・高校で、授業や特別活動、部活動を通じた交流
- ※MOU締結先10の国・地域から選定（合計47人）

㊦ **7月10日～14日**（ホテルステイ）

- ・カナダ : 武蔵野北
- ・オーストラリア : 井草、田柄、武蔵野北

㊦ **12月11日～15日**（ホームステイ）

- ・カナダ : 調布北
- ・オーストラリア : 日比谷、立川国際中等
- ・ニュージーランド : 国立
- ・フランス : 世田谷総合
- ・タイ : 杉並



日本文化体験（弓道・茶道）

< 国内における海外からの生徒との交流 >

1 主な交流内容

- (1) 授業体験
- (2) 部活動体験
- (3) 歓迎会・送別会



教育長表敬訪問



歓迎会

2 交流時の様子

- ・ 生徒同士で日本語と英語を交えながら会話する場面がたびたびあった。 また、お互い分からない単語が出てきた際には、携帯で検索する等、お互い粘り強くコミュニケーションを取っていた。
- ・ 授業中は、海外の高校生がスクールバディの隣に座り、教科書を見ながら電子辞書で一緒に英単語を調べる等、日本語の授業に参加できるようフォローする場面が見受けられた。また、授業によっては生徒同士で議論する時間が設けられ、自分の考えを英語で伝え合う場面もあった。
- ・ 当初はお互いに緊張感もあったが、最終日には写真を撮り合うことや連絡先の交換をしていた。

3 交流体験した都の生徒の声

- ・ 直接交流することで、相手国の理解を深めることができた。
- ・ バディとの会話や交流を通じ、日本の習慣や日本の良さを再認識した。
- ・ 英語の重要性を痛感し、勉強しようと思った。

＜ 令和6年度都立高校生の国際交流について ＞

目的・方針

- 「学校での学習」と「社会」とのつながり、「キャリア」とのつながりを意識
- 「学校での学習」を「世界的視野」に拡大、「世界のリソース」とアクセス

**「世界とのリンクで、学びを深め、
学校をアップデート」**

令和6年度の取組(予定)

派遣 学校での学びを現地ならではの経験を通じ実践的に深められるよう、現地教育機関等と連携し、独自プログラムを企画

- 1 ダイバーシティ（旧多文化共生派遣）コース（5か国）**
・多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成
- 2 オリパラシティ（旧多文化共生派遣）コース（1か国）**
・オリパラ大会開催都市間の生徒間交流を通じた国際感覚等を醸成
- 3 グローバル“スペシャリスト”（旧専門高校生生徒派遣）コース（3か国）**
・専門に関連した取組等を見聞し、社会貢献への意識を醸成
- 4 グローバル“ライフ”コース（旧部活動派遣）コース（1か国）**
・海外の環境や価値観に触れ、キャリア形成につなげる
- 5 グローバル“イノベーション”（IBSTEAM派遣）コース（1か国）**
・世界水準の教育を直接体験し、興味や関心を一層向上

派遣日程（予定）						コース名	派遣国	派遣人数			
8	月	17	日	～	8	月	24	日	イノベーション	アメリカ	24
8	月	25	日	～	8	月	31	日	ダイバーシティ	インドネシア	24
9	月	22	日	～	9	月	28	日	ダイバーシティ	マレーシア	24
9	月	29	日	～	10	月	5	日	スペシャリスト	フィンランド	24
10	月	5	日	～	10	月	11	日	ダイバーシティ	ヨルダン	24
10	月	20	日	～	10	月	26	日	スペシャリスト	UAE	24
11	月	2	日	～	11	月	8	日	ダイバーシティ	トルコ	12
11	月	10	日	～	11	月	15	日	オリパラシティ	フランス	42
12	月	14	日	～	12	月	21	日	ダイバーシティ	エジプト	24
1	月	12	日	～	1	月	18	日	ライフ	フランス	24
2	月	3	日	～	2	月	9	日	スペシャリスト	イギリス	24

R6派遣数：270人（R5派遣数：216人）

受入 校内で生きた国際交流の機会を創出することで、都立高校生の国際感覚を醸成

◎「東京体験スクール」の実施

- ・海外からの生徒は都内に1週間滞在、バディと共に学校生活体験
- ・都立高校で、「授業」や「特別活動・部活動」を通じた交流
- ・「教育に関する覚書」締結国・地域（10の国・地域）から35人、その他の地域から35人、合計70人を受入

受入・交流日程						受入国（調整中）	受入人数			
7	月	7	日	～	7	月	13	日	インドネシア、エジプト フィンランド、ヨルダン	35
12	月	8	日	～	12	月	14	日	オーストラリア、カナダ タイ、フランス	35

R6受入数合計70人（R5受入数合計47人）